

## 晴 古川町市街地で古川祭 天に恵まれ春の訪れを告げる

4月19日(木)・20日(金) 古川町市街地

春の訪れを告げる古川祭が4月19日、20日の2日間行われました。今年は両日とも晴天に恵まれ約56,000人が訪れ、絢爛豪華な屋台や起し太鼓など春の古川祭を堪能しました。

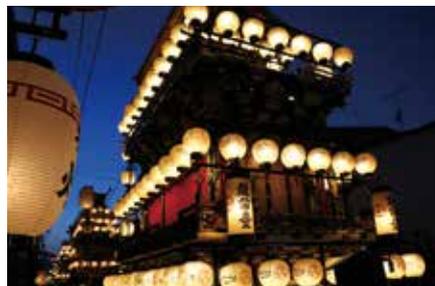
19日夜間には、さらし姿の裸男がぶつかり合う「起し太鼓」が行われ、出立祭の行われたまつり広場では、さらし姿の男たちの熱気が漂っていました。翌20日には、早朝からまつり広場で9台の屋台が曳き揃えられ、からくりや子ども歌舞伎が奉納されました。



打ち出しの様子



屋台の曳き揃え



提灯で彩られた夜祭

## 神 神岡町市街地で神岡祭 岡町内の三社で春の訪れを祝う

4月28日(土) 神岡町市街地

飛騨の三大祭の一つ、飛騨神岡祭が25日に神岡町市街地で行われました。晴天で強い日差しの下、時代絵巻を思わせるような渡御行列が町中を祭囃子とともに巡行し、訪れた多くの観光客らを魅了しました。

この日は、約700人を超える大津神社の行列が出発し、子どもみこしを先頭に、やっこ、獅子、鶏闘楽など連なり、舞姫を乗せた台輪では、華やかな衣装をまとった舞姫が雅楽の演奏に合わせて、「浦安の舞」を披露しながら町中をにぎやかに練り歩きました。



舞姫が祭に花を添えます



行列の様子



躍動感溢れる闘鶏楽

## 道の駅宇宙ドーム神岡 みやげ処がグランドオープン

4月7日（土） 宙ドーム神岡

道の駅宇宙ドーム神岡で、平成31年にオープン予定の「ひだ宇宙科学館カミオカラボ」の整備に向けた「みやげ処」が7日にグランドオープンし、そのオープニングセレモニーが行われました。

みやげ処には、飛騨市の特産物や東京大学宇宙線研究所とのコラボ商品などが販売されており、この日は、市や道の駅関係者らがオープニングセレモニーに出席し、みやげ処の入り口でテープカットが行われました。



テープカットを行う関係者

## 南 災害発生時等の無人航空機を活用 南 城建設協同組合と協力協定を締結

4月3日（火） 市役所

災害発生時等に無人航空機（ドローン）を活用して災害状況の情報収集を行うことを目的に、南城建設協同組合と協力協定を締結しました。

締結した協定では、同組合が昨年9月に購入した2機の高性能ドローンを使って、災害時に写真や映像を撮影し、市へ情報を提供するものです。

都竹市長は「災害発生時に現地に行くのが難しい場所でもドローンであれば写真や映像で状況を把握する事ができる。今後、ドローンを活用し、市の災害対策に万全を期したい」とあいさつしました。



協定書を手にする柳代表理事（左）と都竹市長

## 蓄 昔懐かしいSPレコード曲を楽しむ 蓄 音機で聴くSPレコード曲鑑賞会

4月10日（火） 飛騨市美術館

蓄音機で聴くSPレコード曲の鑑賞会が10日、飛騨市美術館で行われました。

この日は、4人が来場され、美術館内で作品に囲まれながら、昔懐かしいSPレコード曲を楽しみました。

鑑賞に使用した蓄音機は、約100年前に作られたもので、材料は木材を使用しており、来場された方々は温かみのある音楽に聴き入っていました。



レトロな音源を鑑賞する参加者

## 重 市の業務支援職員として雇用 重 度障がいのある方へ雇用通知を交付

4月4日（水） ハートピア古川

平成30年度に市役所で採用した重度の障がいのある方へ雇用通知書の交付が行われました。

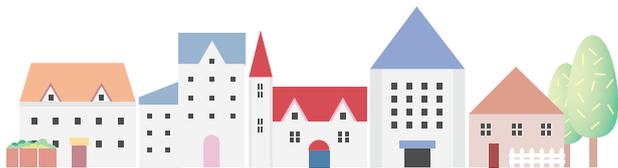
これは、重度障がい者の方を市の業務支援職員として雇用することで、安心して暮らせる飛騨市の1つの施策として、雇用にとまなう環境の改善を行い、安心して雇用できる体制づくりを行うためのものです。

この日は、3月に飛騨吉城特別支援学校を卒業した鮫嶋真衣さんがハートピア古川を訪れ、都竹市長から直接雇用通知書を受け取りました。

鮫嶋さんは「私の経験を活かして、困っている人たちを助けられるよう仕事を精一杯頑張ります」と仕事への意気込みを語ってくれました。



雇用通知を受け取った鮫嶋さん（右）と都竹市長



## 渓谷コース オープン

4月21日(土) 神岡町西漆山

レールマウンテンバイク「ガッタンゴー」の【渓谷コース】が完成し、そのオープニングセレモニーが行われました。

セレモニーでは、同法人関係者や市、議会、商工会議所などが出席し、安全祈願祭やテープカットが行われました。

この渓谷コースは、神岡町西漆山にある旧神岡鉄道の漆山駅を発着点に、神岡町ニツ屋の折り返し地点までの片道3.3kmを往復するコースで、この日は、渓谷コースを予約した約120人の一般客の皆さんが、新緑の山々に囲まれ、高原川や高さ15mの鉄橋、まっ暗なトンネルなど約75分かけてコースを満喫しました。



楽しそうに渓谷コースを楽しむ参加者

## 吉城高校でYCK PROJECT2018始動

4月16日(月) 吉城高校

吉城高校の課題解決型のキャリア教育授業「YCK(吉高地域キラメキプロジェクト)」のオリエンテーションが同校で開かれ、生徒ら232人が参加しました。

YCKプロジェクトとは、課題解決能力を身に付けた人材を育成するため、地域全体を学びのフィールドとして実施されるプログラムで、今年は27個のプログラムが行われます。

この日は、キャリア教育コーディネーターの関口祐太さん、同アドバイザーの盤所杏子さんと同校キャリア推進部の先生、市役所職員らがサポーターチームとして紹介され、関口さんや盤所さんからYCKプロジェクトについて説明がありました。



生徒の前でYCKプロジェクトを説明する関口さん

## ウオークアール健康ウォーキング2018

### ウォーキングで健康づくり

4月29日(土) 飛騨古川森林公園

自然の野山を歩いて治療するドイツの「気候性地形療法」を基本とした健康づくりの運動療法「飛騨市ウオークアール健康ウォーキング」が29日、古川町の飛騨古川森林公園で開かれ、市内の男女12人が参加しました。

ウォーキングでは、絶好の天気日中で新緑のまぶしい全長1.26km、累積高度差61mの森林公園コース内のチェックポイントで、参加者の心拍数や体表面温度を計り、その数値によって体温を調節したり、心拍数を調節したりして適度な運動を行い目標値に近づけることなどを行いました。



森林公園コースを歩く参加者

## ふるさと飛騨市贈呈式

### ふるさとの魅力を学んで全国の人に伝える

4月18日(水) 河合小学校

9年ぶりに改訂された小学校社会科学習資料を活用する市内の小学校を代表して、河合小学校3～6年生の児童に小学校社会科学習資料「ふるさと飛騨市」の贈呈式が行われました。

この日は、同校の図書館に対象児童ら29人が参加。3年生から6年生の代表者4人がそれぞれ都竹市長から「ふるさと飛騨市」を受け取りました。

児童代表で6年生の安達峰都季(あだち ひづき)さんは「この本を使って飛騨市や河合町の良さを改めて学び、その良さや魅力を他の地域の人や日本全国の人に発信していきたいです。ありがとうございます。」とお礼の言葉を述べました。



ふるさと飛騨市を手に微笑む児童